北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	コマース研究ゼミナールⅠ	科目コード	1209	単位数	2
担当者名	橋元　理恵	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	演習	到達目標	G,H	実務経験	無
ナンバリング	HSe401	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

　この授業では、私たちが抱くお金の不安について取り上げます。物価の上昇、労働市場の変化や老後資金の不安などわたしたちが直面する経済的な不安を分析してます。そしてこれらの経済的な不安がどのようにわたしたちの思考や行動に影響を与えているかを考察します。
お金や経済について生活者の視点から見つめ、自分たちの考えをディスカッションします。

到達目標

・テキストをしっかり読み込み、理解し概要をまとめ発表できるようになる。
・テキストを輪読して、お金や経済についての知識を習得できる。
・自分の考えをまとめて発言できるようになる。
・テキストをしっかり読み込み、理解し概要をまとめて発表できるようになる。
・社会で起こっている社会現象、経済活動に関心を持つようになる。
・自分の考えをまとめて発言できるようになる。
・他者に自分の考えを理解してもらえるようなプレゼンテーションができるようになる。

授業内容

1週目 イントロダクション：ゼミでの研究の進め方、テキストの紹介
2週目 お金の不安の正体
3週目 投資とギャンブルの境界
4週目 2週、3週のテーマのディスカッション
5週目 企業に依存することの危険性
6週目 人間関係の重要性
7週目 6週。7週のテーマのディスカッション
8週目 人口減少がもたらす社会的な影響
9週目 お金が全てを解決するという幻想
10週目 8週、9週のテーマのディスカッション
11週目 仕事を減らすことと豊かさ
12週目 社会変革と若者のちから
13週目 11週、12週のテーマのディスカッション
14週目 ディスカッション：テキストからの学び
15週目 プレゼンテーションと質疑応答：「お金の不安とその解消について」
16週目 １～15週のふりかえり
但し、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合には補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・テキストを輪読します。自分の担当箇所だけでなく、ゼミで各回学ぶ箇所についての予習（60分程度）をしてゼミに出席してください。
・ゼミではグループワーク、グループディスカッションも行いますので、各自積極的にゼミに参加して積極的に発言してください。積極的なゼミの参加のためには予習（各回60分程度）は必須です。
・毎回指定される課題は、ゼミの前日までに（manabaやGoogle Classroomを通じて）提出してください。締め切り厳守でお願いします。
・ゼミの授業開始前に他者の提出課題に目を通し、ゼミで積極的に発言できるよう準備をしてください。
・発表にあたっている方は、ゼミが始まるまでに発表の準備をしてゼミの開始時間には発表できるようにしておいてください。
・15週は、これまでに学んだことを一人ずつプレゼンテーションします。
・ゼミでの学習をより深めるためにノートをまとめる等、自分の手で文字等を書くことによって課題に取り組んでください（復習60分程度）。

成績評価の方法・基準

・課題に対する取り組み、ゼミへの積極的な参加、チームによるグループ研究等によって総合的に評価します。
・欠席回数が4回に達した場合は成績評価の対象外とします。

履修上の留意点

・大学生活で何らかの成果を残したいと考える意欲的な方の参加を求めます。
・毎回出席してください。体調不良等で止むを得ず遅刻、欠席する場合は事前にメールで連絡すること。
・ゼミでの積極的な参加（発言、データ収集、資料まとめ等）が重視されます。ゼミの活動に貢献する気持ちのある方の参加を求めます。
・ゼミで積極的に取り組むメンバーに協力しない、ゼミの協同に参加しない「フリーライダー」の参加はご遠慮ください。
・わからない事項や言葉は自ら調べ理解する積極的な態度で臨んでください。
・先輩とのグループワーク、グループディスカッションでは、先輩とともに切磋琢磨して研究をしましょう。
・グループとゼミでの連絡は、E-mail、manaba、Google Classroom等で行います。

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題については、コメントしてフィードバックします。

テキスト

田内学『お金の不安という幻想』（朝日新聞出版）1,650円

参考書

田内学『お金の向こうに人がいる』（ダイヤモンド社）1,760円

更新日付

2026/02/28 12:10